

安全報告書

2021年

伊予鉄道株式会社

目 次

1. 基本方針「安全に係る行動規範」	1
2. 当社の安全管理体制	1
(1) 安全管理体制 組織図	
(2) 各管理者の役割	
(3) 安全管理体制に係る各委員会	
(4) P D C Aサイクルによる安全マネジメント体制の取り組み	
3. 2020年度の事故等の発生状況	5
(1) 鉄道における事故等発生件数	
(2) 軌道における事故等発生件数	
(3) 災害（地震や暴風雨による被害）	
(4) 行政指導等	
4. 2021年度安全重点施策	6
5. 輸送の安全確保のための取り組み	7
(1) 安全確保のための取り組み	
(2) その他の取り組み	
6. ハード面での取り組み	12
(1) 駅施設のバリアフリー推進化	
(2) 新型低床車両の導入	
(3) 鉄軌道設備の維持・更新	
7. 地震災害への安全対策	14
8. テロ対策	16
9. 安全報告へのご意見に関する連絡先	16

1. 基本方針

鉄道・軌道業においては、安全管理規程において安全に係る行動規範を定め、社長以下全従業員に対し周知を図り、安全輸送の確保・絶対無事故に取り組んでいます。

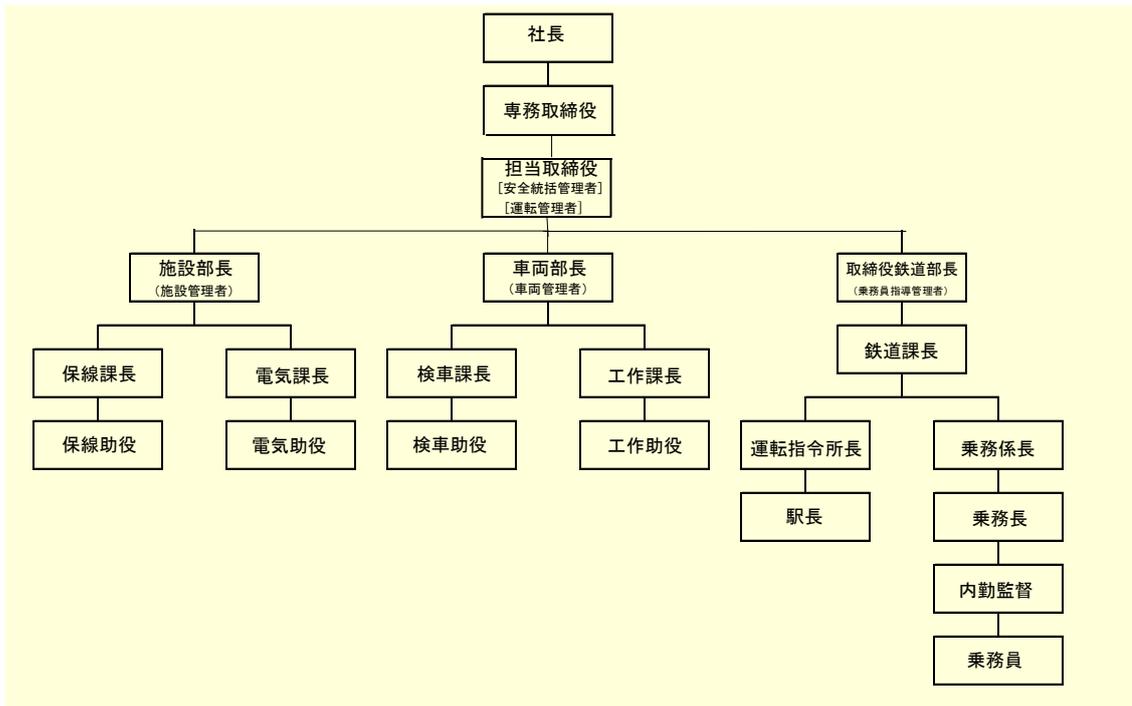
安全に係る行動規範

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令および関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

2. 当社の安全管理体制

2006年10月から「安全管理規程」を制定し、社長をトップとした安全管理組織を構築して運用しています。

(1) 安全管理体制 組織図



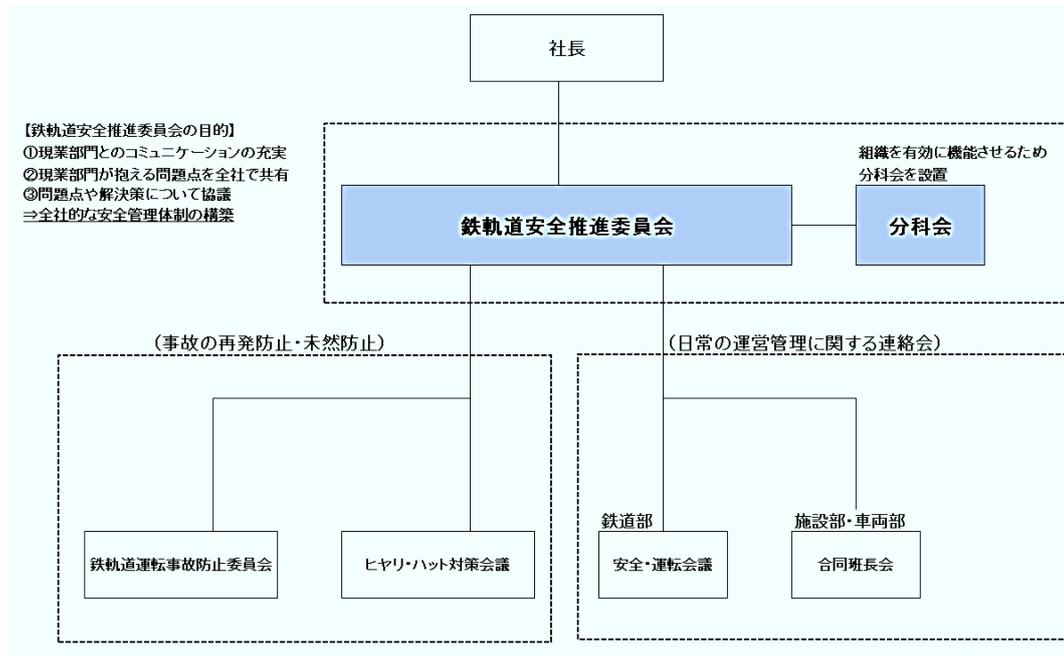
(2) 各管理者の役割

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転および事故防止に関する事項を統括する。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道・軌道施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
グループ経営本部長 (株伊予鉄グループ)	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務、要員に関する事項を統括する。

(2) 安全管理体制に係る各委員会

① 鉄軌道安全推進委員会

2012年12月、鉄道および軌道事業における輸送の安全確保に関する事項全般を対象とし、管理部門と現業部門との意思疎通の円滑化を図り、現業部門が抱える問題意識を全社で共有するとともに、現業部門から抽出された問題点や解決策につき協議を行い、全社的な安全管理体制の構築を図るため、各委員会の上位に鉄軌道安全推進委員会を設置し、併せて改善提案制度を導入しました。



② 鉄軌道運転事故防止委員会

運転事故の原因究明および防止措置に関する事項を総合的に調査審議し輸送の安全性を向上させるため、鉄軌道運転事故防止委員会を年1回実施しております。

鉄軌道運転事故防止委員会（写真：2020.12.9）



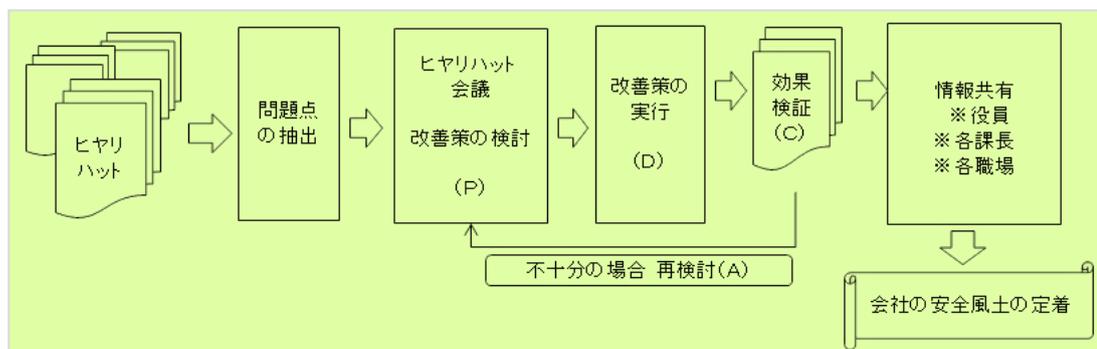
目安箱(改善提案書投函箱)（写真：古町乗務係）



③ 「ヒヤリ・ハット」対策会議

運輸安全マネジメント、安全管理規程に基づき、職場で体験（想定）したヒヤリ・ハットから危険要因と改善点を抽出し、社内で情報を共有することで事故、労働災害を未然に防止する環境を構築するため、四半期に1回対策会議を実施しております。

ヒヤリ・ハット事案の対策フロー



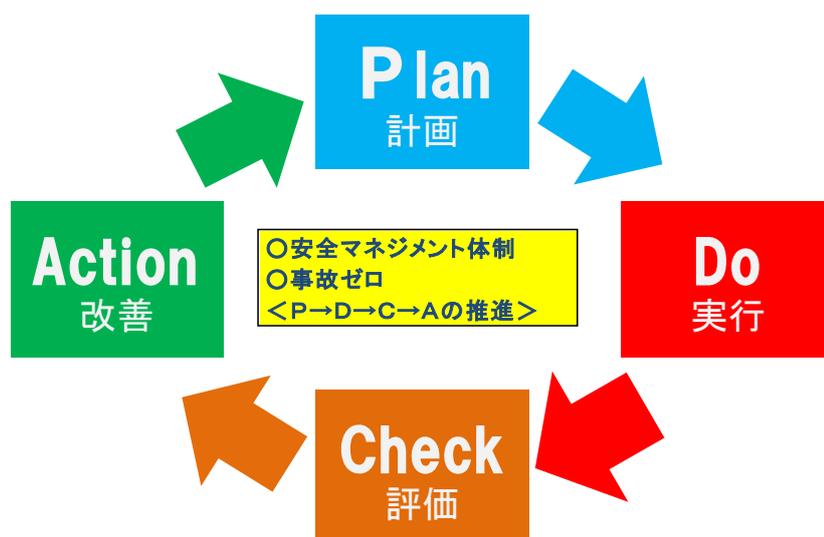
④ 安全・運転会議(駅員監督者と乗務員監督者の合同会議)および

合同班長会(施設・車両関係の監督者会議)の開催

管理部門と現業部門とのコミュニケーションを図り、日常の運営管理や問題点に関する連絡会議として毎月または隔月に開催し、現業部門からの情報の集約、および現業部門への情報提供の場を設けております。

(4) PDCAサイクルによる安全マネジメント体制の取り組み

経営トップから現場の従業員に至るまで全員が一丸となって「安全で安心、快適な電車」を目指し、「計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）→」のPDCAサイクルで安全性の向上を図る安全マネジメント体制に取り組んでいます。



経営トップによる現場とのコミュニケーション

社長や安全統括管理者は、定期的に現場巡視を行い、輸送の安全確保の取り組み等について確認するとともに、現場とのコミュニケーションを図っています。

安全統括管理者訓示（2020年12月）



施設部実設訓練視察（2020年4月）



運輸安全マネジメント内部監査の実施

■監査目的

輸送に関わる安全管理体制の構築・改善の取り組みを確認しました。

■監査内容

次の事項について監査しました。

- ①各部署の安全管理体制が、安全管理規程やその他安全管理体制に関する規程・手順に適合しているか
- ②安全管理体制が適切に運営され、有効に機能しているか

■実施日

トップインタビュー	9月	17日(木)
鉄道部	10月	20日(火)
車両部	10月	20日(火)
施設部	10月	20日(火)

■監査結果 改善事項等の指摘はありませんでした。

トップインタビュー(社長)



鉄道部の内部監査



3. 2020年度の事故等の発生状況

2020年度に発生した四国運輸局への届出が必要な運転事故、輸送障害およびインシデントの件数は下記のとおりです。

なお、事故等の定義は次のとおりです。

【事故等の定義】

- ①「運転事故」とは鉄道および軌道事故等報告規則に定める「列車衝突事故」「列車脱線事故」「火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「人身傷害事故」「物損事故」等をいいます。
- ②輸送障害とは鉄道および軌道による輸送に障害を生じた事態であって運転事故以外をいいます。
- ③インシデントとは運転事故等につながる恐れがあると認められる事態をいいます。

(1) 鉄道における事故等発生件数

	列車衝突	列車脱線	踏切障害	道路障害	人身障害	輸送障害	インシデント
2020年度	0	0	2	0	0	2	0

(2) 軌道における事故等発生件数

	車両衝突	車両脱線	踏切障害	道路障害	人身障害	輸送障害	インシデント
2020年度	0	0	0	0	0	1	0

- ・異常運転に該当する事案1件
古町構内回送電車が入換信号冒進
- ・インシデントに該当する事案なし

(3) 行政指導等

なし

4. 2021年度 安全重点施策

2021年度の安全重点施策は次のとおりです。

1. 「有責事故」・「インシデント」発生ゼロ

- ① 危険予知・防衛運転で有責事故ゼロ
- ② 作業基準を厳守し基本動作を厳正に執行しヒューマンエラー発生ゼロ

2. 法令および規程の遵守

- ① 関係法令の厳守・各規定類の遵守を徹底する。
- ② 安全に対する意識・業務知識を向上させる教育・訓練の推進

3. 事故・トラブルの未然防止と再発防止対策の推進

- ① 「ヒヤリハット情報」などによる問題点の早期把握と再発防止
- ② ヒューマンエラー・設備・車両故障の防止

4. 安全性向上施策の推進

- ① 自然災害等に対する安全対策の推進
- ② 各部門間の連携による安全管理体制の向上

各部署は安全重点施策に基づき部署ごとの業務内容に合わせた具体的目標を作成し、達成に向けた取り組みを行っています。

5. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 安全確保のための取組み

行政機関と連携して実施する「春・秋の全国交通安全運動」、「年末年始の輸送等に関する安全総点検」をはじめ、過去の事故を教訓として続けている運転事故撲滅運動、安全性向上および事故防止にむけた取組みとして各種安全教育訓練、運輸安全マネジメント内部監査を実施しています。

また、近い将来に発生が予想されている南海トラフ地震に伴う津波を想定した避難訓練を毎年実施しております。

	訓練実施時期	訓練場所	訓練概要
全課	2020年 12月	グループ・鉄道部	地震災害総合対策本部設置及び伝達訓練
	2020年 12月	古町車庫	地震避難誘導訓練
鉄道部 (駅務)	毎月	運転指令所	運転取り扱いに関する各種実設訓練
	2020年 4月	松山市駅	① CTC運転取扱い基準について ② 松山市駅(郡中線)出発信号不現示の取扱い ③ 電気転てつ器(NS型)手動介入訓練
	2020年 7月	松山市駅	大地震発生時の初期対応訓練
	2020年 9月	松前駅	① 松前駅場内信号不現示の取扱い ② 発条転てつ器手動介入訓練 ③ 連動盤取扱い及び電話使用方法
	2020年 9月	松山市駅	防災避難訓練
	2020年 9月	松山市駅	緊急地震速報受信伝達訓練
	2020年 11月	松山市駅	消防基本訓練
	2020年 12月	古町駅	① 古町車庫入換信号不現示の取扱い ② 電気ポイント(NS・YS)手動介入訓練 ③ 刺股使用訓練
	2021年 3月	松山市駅	消防基本訓練
鉄道部 (乗務)	2020年 5月	松山市駅	【鉄道線実設訓練】ATSを解放して運転する場合の処置及び対応・ブレーキ異常時の処置 【軌道線机上教育】報告の重要性 ブレーキ異常時の処置
	2020年 5月	古町・鉄道課	軌道新人(1年)フォローアップ研修
	2020年 6月	古町・鉄道課	軌道新人(6カ月)フォローアップ研修
	2020年 7月	古町・鉄道課	【机上教育】過電圧によるインバーター故障 【鉄道線、監督机上】運転取扱心得考査 【軌道線実説訓練】電気制動の仕組みと取扱い
	2020年 9月	古町・鉄道課	【軌道線机上教育】運転取扱考査 【鉄道線実説】郡中線閉そく変更の取扱い 松山市駅エスカレーターの緊急停止方法
	2020年 10月	古町・鉄道課	軌道新人(3カ月)フォローアップ研修
	2020年 11月	古町・鉄道課	【机上教育】郡中線における救援列車による故障車両の収容 伝令法について
	2020年 12月	古町・鉄道課	軌道新人(6カ月)フォローアップ研修
	2020年 12月	古町・鉄道課	軌道新人(1年)フォローアップ研修

	2020年 12月	古町・鉄道課	軌道新人（2年）フォローアップ研修
	2020年 12月	古町・鉄道課	【全体机上教育】業務研究会の質問に対する回答 軌道環状線における救援列車の取扱い（指導法） 【鉄道線実説訓練】漏気による空気圧力の降下の場合の処置
	2021年 2月	古町・鉄道課	軌道新人（3ヶ月）フォローアップ研修
施設部	2020年 4月	三津駅構内	（保線）スイッチアジャスター折損を想定した早期復旧訓練
		古町駅構内	（電路）トロリー線の張替訓練
		梅津寺公園駐車場	（電気）高所作業車・ユニック車の運転・操作技能向上訓練
	2020年 9月	古町技術センター	（保線）軌条折損を想定した早期復旧訓練
		鉄道軌道全線	（電路）災害時を想定しての巡回及び連絡体制の確認訓練
		上一万変電所 中央制御所	（電気）過電流継電器本体不良を想定した点検・復旧作業
	2020年 12月	三津駅構内	（保線）軌道線分岐器スプリングロッド折損を想定した早期復旧訓練
		古町駅構内	（電路）トロリー線異常摩耗復旧訓練
		上一万変電所 中央制御所	（電気）気中遮断器の再閉路失敗（重故障）を想定した点検・復旧作業
車両部	2020年 4月	古町車庫線	50形車両の脱線復旧訓練
	2020年 9月	古町車庫線	坊っちゃん列車の転車装置・エンジン故障を想定した車両回収訓練
	2020年 12月	古町車庫線	610形車両の脱線復旧訓練

各訓練実施写真

電気転てつ器（NS型）の手動介入訓練



発条転てつ器手動介入訓練



乗務員の安全教育



(古町車庫線) 入換信号不現示の取扱い



刺股使用訓練



発煙筒使用訓練



電気係員によるトロリ線張替訓練



過電流継電器試験



保線係員による線路復旧訓練



車両係員による脱線復旧訓練



故障車両の回収訓練



(2) その他の取り組み

① 厳正な点呼とアルコールチェック

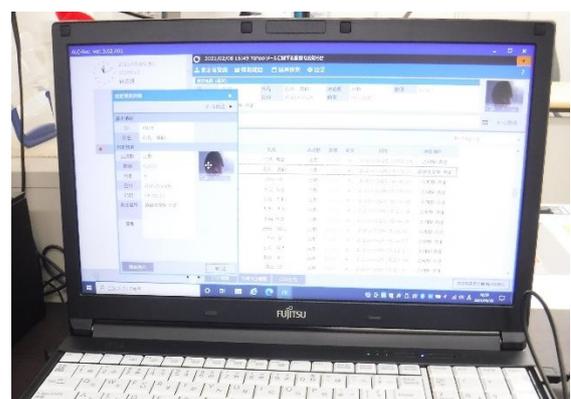
乗務員の飲酒運転防止と体調把握のため、乗務前後にアルコールチェックと対面点呼を実施しております。

また、業務用の携帯電話をすべての車両に配備し、個人所有の携帯電話については乗務中携帯禁止としております。

アルコールチェックの様子



アルコールチェックの画像・数値の記録



②ドライブレコーダーの活用

ヒヤリハット情報や事故状況の確認のため、ドライブレコーダーをすべての市内電車に搭載しております。カメラで車両内外の状況を記録し、事故発生時の状況確認や、ヒヤリハット情報として乗務員の安全教育に活用しています。

ドライブレコーダーの映像



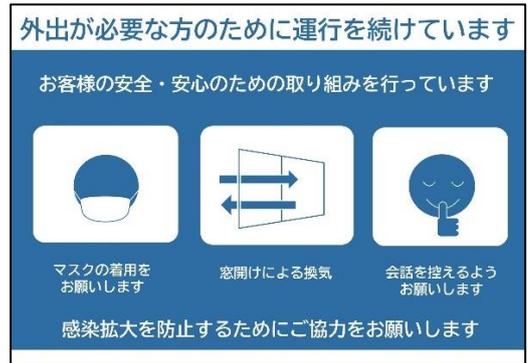
③事故再発防止検証会の開催

有責事故等が発生した場合には、該当乗務員・管理職・指導職・労働組合で構成する「事故再発防止検証会」を開催しております。「反省会」と「試乗」を実施することにより、論理面・運転面の分析と検証を行ない、事故再発防止に繋げております。

④新型コロナウイルス感染防止対策

電車をご利用いただく皆様に安心してご利用いただくため、以下の感染防止対策を行っております。

1. 従業員の健康管理の徹底（乗務員は、出勤点呼時に検温及び健康状態を確認）
2. 従業員のマスクの着用義務、手洗い・うがいの徹底
3. 電車の車内換気実施
4. 飛沫感染防止シートの設置（市内電車運転席・松山市駅改札等）
5. アルコール消毒液の設置（松山市駅改札、各事務所等）
6. 点検入庫時、車内の清掃・消毒実施
7. 感染拡大防止対策（手洗い、手指消毒、テレワーク、時差出勤等）をアナウンスや各駅・車内ポスターにて啓発



6. ハード面での取り組み

当事業年度において実施した主な施設更新および工事は次のとおりです。

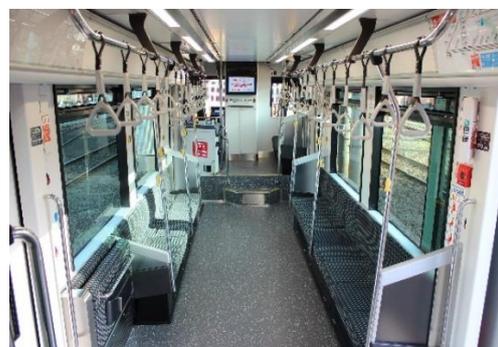
(1) 新型低床車両の追加導入

2021年2月に新型低床車両「5000形」2両を追加導入し合計8両での営業運行をおこなっております。「5000形」は従来型低床車両と比較し車内の通路幅が広く定員数も増となっております。お客様の利便性及び快適性を向上させご利用いただきやすい仕様としております。

新型低床車両「5000形」(外観)



(車内)



(2) 鉄軌道設備の維持・更新

踏切更新工事 (全 17 カ所)

踏切遮断機取替工事計画的に踏切遮断機の取替を行い踏切保安度の維持を図りました。

(施工前)



(施工後)



レールやマクラギ更新工事

安全性や快適性の向上のため、レールやマクラギなどの更新工事を計画的に行っています。

横河原線、梅本駅～牛湊団地前駅間 50kgN レール・PC マクラギ敷設

(施工前)



(施工後)



鉄道線木マクラギ交換



土居田踏切道レール交換



視覚障害のある方の駅ホームにおける転落防止措置について

視覚障害のある方の安全確保のため、内方線付き点字ブロック敷設のほか、係員の声掛けによる転落防止措置をとっています。

新入社員を対象にした「視覚障害者の案内訓練」



7. 地震災害への安全対策

2007年10月1日より一般供用が開始された気象庁の緊急地震速報制度を利用した緊急地震速報受信装置を同年10月、運転指令所、古町中継所に設置しました。

緊急地震速報を受信した場合、直ちに全列車に対し注意運転または運転中止を指令します。

緊急地震速報受信装置



列車無線による指令



南海トラフ地震を想定した避難訓練

■日時 2020年12月17日(木) 9:30~10:05

■場所 古町~衣山間 高架上

■目的 南海トラフ地震防災対策計画に基づき、地震からの避難訓練を総合的かつ実践的に実施することにより、緊急時の連携協力体制の確認および強化と防災対策の確立を図る。

- 概要
- ①想定：高浜線高架上で上り列車運転中、緊急地震速報発令
 - ②訓練：各所間の指示・連絡訓練
 - ：関係箇所へ通報
 - ：車両からの退避訓練
 - ：高架上から避難場所までの誘導訓練

地震避難訓練 郊外線車両より乗客避難誘導



8. テロ対策

駅構内の電光表示により、お客様に対して不審物を発見した場合の通報のご協力をお願いしています。また、全駅に防犯カメラを設置してテロリスト等、不審者への防犯対策を行っています。

電光表示機による注意喚起・協力お願い



全駅に設置している防犯カメラ



9. 安全報告書へのご意見に関する連絡先

安全報告書のご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。
info@iyotetsu.co.jp